

みんなのお場

届いたお手紙から みんなのおたより紹介



ありがとう！うれしかった

被災後、しらすぎ台に住むようになってから三年目に入りました。今、こうして落ち着いていられるのも、皆さんの支えと励ましのおかげと思っています。

被災後、知らない土地で初めてお会いする方々ばかりなのでドキドキしながらチャームを鳴らしました。お互いに「よろしくお願ひします」というあいさつから会話が始まり、わたしと同じ

ように被災している方も多く、被災してからこれまでの暮らしのことなどお互いに話しているうちに心が和んでいきました。
また、わたしが飼っていた犬を知っていた方もいて、愛犬の話で会話が弾みました。
知らない人たちと語り合、優しさに触れたホッとしたり一日でした。皆さん、ありがとう！これからもよろしくお願ひいたします。
(木村富美子)



キラッとパチリ

安心安全なまちの基盤づくり

石巻市には、復興支援で訪れている長期派遣職員の方々が206人(8月1日現在)います。今回は防災推進課の深田安昭さん、江畑博史さんを紹介いたします。

※ ※

被災した地域の復興の一助を担いたいと、派遣募集に進んで手を挙げた深田さんは、平成25年4月に着任しました。消防署所の整備再編事業に携わり、安心安全な地域の実現のため基盤

づくりに取り組んでいます。「住みやすいまちづくりに向け、力の限り復興を支えていきます」と決意を述べます。

江畑さんは今年4月に着任し、災害用備蓄品の配備等の業務を担当しています。「市民の皆さんにとって一番必要なことは何かを考えて業務を行っています。傷あとの大きい沿岸部が一日も早い復興を遂げるよう、チャレンジ精神で取り組んでいきます」と力を込めます。

未来に向かう石巻市に対し、深田さんは「絆を大切に一人ひとりの力に期待したい」と語り、江畑さんは「安心して笑顔で暮らせる地域になることを願っています」と話していました。



防災推進課

深田安昭さん 39歳
神奈川県平塚市から派遣



防災推進課

江畑博史さん 26歳
京都府大山崎町から派遣

◇投稿募集

皆さんからの投稿をお待ちしています。テーマに沿ったあなたのとおきの話をお寄せください。

テーマ 「ありがとう」

日常生活の中で、皆さんの「ありがとう」に関する逸話(エピソード)をお聞かせください。

字数 400字以内

投稿方法 住所、氏名、年齢、電話番号を明記し郵送またはEメールで秘書広報課あてにお送りください。掲載の場合はペンネームを可能としますので、ペンネーム希望の場合はその旨明記してください。

注意事項 公序良俗に反するもの等やスペースの関係上、投稿いただいたもの全てを掲載できるものではありません。また、字数等の関係で内容を調整させていただきます。

☎ 秘書広報課(内線4024) ☎986-8501(住所不要)

✉ ispubinfo@city.ishinomaki.lg.jp

まちの話題



石巻地区

8月4日(月)
石巻魚市場

新施設で競りスタート

復旧工事が進められている石巻魚市場の施設のうち東棟と中央棟の一部が完成しました。供用開始初日は地場産の魚介類を中心に競りや入札が行われ、市場内に威勢の良い声が響きました。今後は仮設市場を解体して管理棟が入る西棟と中央棟の残り部分の工事が行われ、来年6月までに完成する見通しです。新施設は壁がある密閉型で、世界基準の衛生管理を目指します。

石巻地区

水上で白熱バトル 孫兵衛船競漕

7月31日(木)、8月1日(金)
旧北上川河口



石巻川開き祭りの水上行事「孫兵衛船競漕」が震災以来4年ぶりに完全復活し、2日間にわたり水上で激しいレースが繰り広げられました。コースは男女ともに石巻大橋から旧リバーサイドホテル前までの約450メートルで、一般(男性)には34チーム、ミニ(女性)には11チームが出場し、勝利を目指して心一つにオールを漕ぎました。